

CUPAレポート

はじめに

今月より『月刊 CUPA レポート』を毎月 10 日に発行させていただきます。

運営委員やアドバイザーからの最新のレポート、イベント/セミナー情報など紹介し、会員様のお役にたつことができればと思っております。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

目次

- P1 はじめに
- P2 レポート-1 鶴沢幹夫
- P3-4 レポート-2 新野淳一
- P5-6 レポート-3 林雅之
- P7-9 イベント情報
- P10 編集後記

「OpenFlow を採用する Google の狙い」

CUPA 総合アドバイザー 鶴沢 幹夫

Google という企業はインフラに対して執拗にフォーカスすることで、競争上の優位性を引き出し、また、誰よりも速く安く検索結果を届けるという成果をもたらしてきました。つまり、インフラストラクチャに投資することで、オンライン配信における数セントの削減が積み上げられることを理解しています。

そして、いくつかの新しい投資分野の1つとして、OpenFlow プロトコルを活用した SDN の構築という目標を持っています。Google Fellow であり SVP of Technical Infrastructure でもある Urs Holzle は、「私たちが気づいている気分の高揚は、プログラムによる OpenFlow の実装が十分な意味を持ち、また、実際にいくつかの経路を利用できそうなことだ。それにより、目論見を実現できそうだと、私は考えている」と発言しています。

しかし、「その歴史はきわめて短く、また、成功を宣言するにはあまりにも早すぎる」とも、付け加えています。そして、2012年6月には、同社の Principal Engineer である Amin Vahdat が、Network World 誌の長いインタビューに答えています。今月は、この Amin Vahdat のインタビューをご紹介します。

Google の OpenFlow バックボーンは、どのように機能しているのか_1

<http://wp.me/pwo1E-4IL>

Google の OpenFlow バックボーンは、どのように機能しているのか_2

<http://wp.me/pwo1E-4mm>

FRAMINGHAM, Mass. – Google は SDN と OpenFlow を早い時期から支援してきており、また、先日の Open Networking Summit では、いくつかの詳細な情報を共有している。それは、このテクノロジーを用いて、世界の 12ヶ所に点在するデータセンターを、10G リンク上にリンクさせる手法に関するものである。そして、私は、さらなる詳細を知るために、Google の主任エンジニアである Amin Vahdat に話を聞いた。



「Publickey News Selection」

CUPA 総合アドバイザー 新野 淳一

2012年6月は、7日に米オラクルが「Oracle Cloud」の正式サービスを開始、翌8日にマイクロソフトが「Windows Azure Spring Release」でIaaS型クラウドの提供を発表し、29日にはグーグルも「Google Compute Engine」を発表してIaaS型クラウドサービスを発表するという、相次いで大きな発表があった1か月でした。

Publickeyの記事から、関連した記事3本のハイライトを掲載します。

■2012年6月7日 [速報] オラクル、「Oracle Cloud」正式サービス開始。PaaSとしてOracleデータベースとJavaをクラウドで提供

米オラクルがクラウドサービス「[Oracle Cloud](#)」の正式サービス開始を発表しました。

Oracle Cloud

Oracle Cloudは、同社のERP(統合業務アプリケーション)であるFusion Applicationsのアプリケーションを提供すると同時に、OracleデータベースとJava実行環境をPaaS型クラウドで提供します。日本時間の今日午前5時から同社CEOラリー・エリソン氏が行った発表会の、PaaSについてのハイライトを紹介します。

オラクルのPaaSを提供開始

米オラクルCEO ラリー・エリソン氏。

7年前に、私たちはすべてを新しく作り直すという決定をし、長い時間と数千人の人員と大きなコストをかけてクラウドへと対応させてきた。そして私たちは、クラウドアプリケーションプロバイダになった。100以上の業務アプリケーションをクラウドで提供し、FacebookやTwitter、Google+などのソーシャルネットワークにも対応する。そして、業務アプリケーションのための基盤も提供する。オラクルのPaaSだ。

Oracle Databaseがクラウドで使える

クラウドのデータベースとして私たちが選んだのは、驚くべきことにOracle Databaseだ(笑)。オラクルのクラウドはスタンダード準拠であり、オンプレミスのアプリケーションがそのままクラウドでも走る。クラウドで提供されるOracle Databaseの特徴の1つはセキュアであることだ。あなたが預けたデータが他社のデータと混在したりしない。きちんと分かれている(注:これはマルチテナントなデータベース構造を持つセールスフォース・ドットコムのアーキテクチャを[揶揄している](#))。Javaサービスも提供する。これは業界標準のテクノロジーそのままであり、あらゆるオンプレミスのアプリケーションがクラウドで走る。これが競合他社のクラウドとの大きな違いだ。クラウドの中で仮想マシンが割り当てられ、適切なサービスレベルが保証される。デベロッパーのための開発ツールやスクリプティング言語、モバイルプラットフォーム機能も提供する。

画像付詳細記事 (http://www.publickey1.jp/blog/12/oracle_public_cloudpaasoraclejava.html)

■2012年6月8日 [速報] 新Windows Azure登場、IaaS型クラウドとしてLinuxやMySQLのサポートをデモ

米マイクロソフトは日本時間5時から、Windows Azureの新しい機能を紹介するイベント「Meet Windows Azure」を開催しました。

昨日の記事「[\[速報\] Windows AzureがついにIaaS機能を発表。Hyper-V仮想マシンがそのまま稼働、仮想プライベートクラウドも実現](#)」で紹介したように、Windows AzureはIaaS機能が追加され、Linux OSなどが稼働する柔軟さを強化したクラウドとなっています。イベントの内容をダイジェストで紹介합니다。

Windows AzureにIaaS機能を追加。Linux OSもサポート

Windows Azure担当、コーポレートバイスプレジデント スコット・ガスリー氏。

2年前にWindows Azureを立ち上げ、継続的に機能強化してきた。そして今回、Windows Azureは次世代に向けて大きな機能追加を行い、よりフレキシブルなサービスになった。IaaS型クラウドの機能が追加され、強力な仮想マシンをデプロイすることができるようになった。仮想マシンではWindowsだけでなくLinuxもサポートしている。Linuxのサポートは新機能の一部であり、また新しいWindows Azureの柔軟性を示す。さらに多くのOS、プロトコル、プログラミング言語をサポートし、オープンさを増している。新しい仮想マシンを作ってみよう。Windows Azureでは、仮想マシンで実行するOSのイメージも提供する(画像では、Windows Serverのほか、CentOS、SUSE Linux、Ubuntuなど)。

画像付詳細記事 (http://www.publickey1.jp/blog/12/windows_azureiaaslinuxmysql.html)

■2012年6月29日[速報]Googleが「Google Compute Engine」発表！ IaaS型クラウドでAmazonクラウド対抗へ。Google I/O 2012

Googleは現在サンフランシスコで開催中のイベント「Google I/O」において、IaaS型クラウドの「[Google Comute Engine](#)」を発表しました。これまでGoogleはクラウド上でPythonやJavaを実行できる「Google App Engine」を提供してきましたが、新しい「Google Compute Engine」はLinux仮想マシンをオンデマンドで提供するIaaS型のクラウドです。ストレージサービスとなる「Google Cloud Storage」も発表されました。

Google I/OでのGoogle Compute Engine発表

GoogleのSVP Technical Infrastructure、Urs Hölzle氏。

Googleは世界でもっともスケラブルで信頼性の高いデータセンターやそれらをつなぐネットワークを構築してきた企業の1つだ。2008年、私たちはGoogle App Engineの提供を開始した。その後多くのユーザーから「仮想マシンをオンデマンドで使いたい」という要望が寄せられた。性能が良くスケラブルで安価で、まるで社内で使っているように使いたいと。そこで本日、「Google Compute Engine」を発表する。IaaS型クラウドとして、高性能で高いスケラビリティを実現する。GoogleスケールでLinux仮想マシンを提供し、例えば1万サーバでも使えるようになる。ストレージのオプションも用意し、サーバ間のクラスタネットワークも構築できる。高いスケラビリティと性能だけでなく、ベストプライスを提供する。我々は何年にもわたって低コストで高性能を追求してきたのだ。現在、Google Compute Engineはリミテッドプレビューの段階だ。βユーザーでは、がんの薬を研究するための60万コアを使った計算も実際に行っている。これをどう使うかは、あなた次第だ。

UbuntuかCentOSを選択でき、1時間0.145ドルから

Google Compute Engine

Google Compute Engineの価格や機能については、すでにWebサイトで公開されています。仮想マシンのOSとしてUbuntuかCentOSのいずれかが選択可能。インスタンスの大きさは、仮想コアの数に応じて1、2、4、8仮想コアがあり、仮想マシンにはローカルストレージが含まれています。ストレージはパーシステントディスクを選択すると高信頼性のためにデータが複数のディスクへ書き込まれ、スナップショット機能なども提供されます。複数のサーバ間をクローズドなネットワークとして接続したり、外部IPアドレスを設定することも可能。料金は最小構成の仮想1コアで3.75GBメモリ、420GBディスクで1時間あたり0.145ドルと設定されています。

画像付詳細記事

(http://www.publickey1.jp/blog/12/googlegoogle_compute_engine_iaasamazongoogle_io_2012.html)

「クラウド・エコシステムについて」

CUPA 総合アドバイザー 林 雅之

クラウド・エコシステムについて、これまで「[ITmediaオルタナティブ・ブログ『ビジネス 2.0』の視点](#)」で掲載してきたブログ記事を取りあげながら、そのポイントについてご紹介していきます。

[クラウド・エコシステムとは何か？ \(2012.5.14\)](#)

クラウド・エコシステムには、複数の事業者や複数の産業の境界線が融合しあい、多種多様な事業者が協調と競争、そして共創を繰り返す事業環境の中で、共存共栄しあう関係性をベースにしたクラウド環境を構築することが重要であると考えられます。

クラウド環境上には、競争優位の源泉となる事業者同士のリソースを組み合わせ、イノベーション創出を生み出すとともに、事業領域が健全に運営されていることが持続性のある事業の発展にもつながることでしょう。

クラウド・エコシステムの健全性には、クラウド上で、持続的に新サービスを提供できる生産性、そして、エコシステムの中で価値創造が可能な環境であり、価値を共有することで、相互の信頼関係も維持することが、重要となります。また、急速な技術革新や競合会社のサービス登場にも事業自体が混乱しない堅牢性の高い環境も構築しておくことも必要となるでしょう。さらに、事業者の多様性の存在が持続的なイノベーションの源泉になると考えられます。

エコシステムとは、本来は、自然界の生物と食物連鎖などの異質な環境要素によってを良好な環境を維持する循環系システムとしての「生態系(Ecosystem)」を意味する科学用語です。

この本来の言葉から派生し、現代においては、複数の事業者がサービス開発などにおいてパートナーシップを組み、相互の技術や資本を生かし、業界の枠を超えた開発事業者や販売代理店など多種多様な構成員により、国境を越え広く共存共栄する平等な収益の循環が、エコシステムを健全に機能させる条件としての位置づけとなっています。

オープンスタンダード化もしくはデファクトスタンダード化されたクラウド・エコシステムは、多くの関係事業者やグループを集約するプラットフォームとしての役割を担います。この場となるクラウド・プラットフォーム上に多くの関係事業者が集まることにより、外部ネットワークとの連携効果を創造し、新しい事業のクラウド・エコシステムを構築すること可能となります。

さらに、スケール・メリットを獲得できれば、市場へのプレゼンスが高まり、コストの優位性や、ユーザが自由かつ柔軟にサービスを選択できるユーザドリブンの環境が生まれ、さらなるクラウド市場の創出と発展にもつながることでしょう。

これらのオープンなクラウド環境を提供するのが、OpenStack や CloudStack などのオープンソースのクラウド基盤ソフトウェアです。コミュニティなどを中心に普及が広まり、企業ユーザへの導入が進み、さらにはサードパーティとの連携により、オープンなクラウド・エコシステムが形成されつつあります。

「『ビジネス 2.0』の視点」6月のクラウド記事アクセスTOP10

1. [国内外のビックデータの活用に関する取り組み事例について](#) 2012/05/02
2. [オープンソース・クラウド戦争の始まり？「CloudStack」と「OpenStack」の最近の動き](#)
2012/04/16
3. [クラウド・エコシステム\(18\)医療クラウド](#) 2012/06/08
4. [IaaSからPaaSへとシフトするパブリッククラウド市場動向の行方](#) 2012/05/11
5. [クラウド・エコシステム\(17\)教育クラウド](#) 2012/06/07
6. [クラウド・エコシステム\(16\)自治体クラウド](#) 2012/06/05
7. [クラウド・エコシステム\(1\)クラウド・エコシステムとは何か？](#) 2012.5.14
8. [クラウド・エコシステム\(4\)SIビジネスの行方](#) 2012/05/17
9. [クラウド・エコシステム\(14\)ベンチャー企業の役割](#) 2012/06/01
10. [クラウド・エコシステム\(25\)電子書籍ビジネス<前編>](#) 2012/06/21

イベント・カレンダー NO-1 (2012年7月~9月)

イベント名：第7回「エンタープライズ・クラウドの現在」

URL：<http://kokucheese.com/event/index/40320/>

開催日：2012年7月12日(木)13:00-17:00

開催場所：NEC本社(田町) (東京都港区芝5-7-1)

講演1：「エンタープライズ・モバイルクラウドの潮流」

デロイト トーマツ コンサルティング株式会社 パートナー 八子 知礼 様
(CUPA 運営委員)

講演4：「GOOGLE の新しい検索手法 KNOWLEDGE GRAPH について」

早稲田大学 客員教授 丸山 不二夫 先生 (CUPA 顧問)

イベント名：IBM Edge Japan 2012

URL：<http://www-06.ibm.com/systems/jp/saiteki/event/edge201207/index.html>

開催日：2012年7月13日(金)15:00-19:00

開催場所：ウェスティンホテル東京 (東京都目黒区三田1-4-1)

モデレータ：パネルディスカッション「ビッグデータが変えるストレージの新常識とは」

Publickey 新野 淳一 様 (CUPA 総合アドバイザー)

イベント名：SecureAsia2012

URL：https://www.isc2.org/japan/news_2012_archive.html#20110717

開催日：2012年7月17日(火)・18日(水)10:00-17:00

開催場所：ヒルトン東京(東京都新宿区西新宿6-6-2)

講演：プレ・カンファレンス② (7月13日(金)14:00-17:00)

「CSSLP (Certified Secure Software Lifecycle Professional) 体験セミナー」

株式会社ディアイティ 河野 省二 様 (CUPA セキュリティアドバイザー)

イベント名：Citrix iForum 2012 Japan

URL：<http://www.citrix.co.jp/iforum/session/index6.html#G2-2>

開催日：2012年7月18日(水)18:45-19:30

開催場所：ザ・プリンスタワー東京 (東京都港区芝公園4-8-1)

モデレータ：Geek Speak Live! (G2-2)「最新エコクラウドシステム」

Publickey 新野 淳一 様 (CUPA 総合アドバイザー)

パネリスト：一般社団法人クラウド利用促進機構 荒井康宏 (CUPA 代表理事)

イベント名：VIOPS07 WORKSHOP

URL：<http://www.viops.jp/>

開催日：2012年7月20日(金)10:00-18:00

開催場所：新宿住友ビル47F 新宿住友スカイホール ROOM5 (東京都新宿区西新宿2-6-1)

講演：Windows Azure 事例など

Japan Windows Azure User Group (シグマコンサルティング株式会社) 橋本 圭一 様
(CUPA 運営委員)

<http://www.viops.jp/viops-meetings/viops-7-workshop.html>

主催：仮想化インフラストラクチャ・オペレーターズグループ

(さくらインターネット株式会社) 松本 直人 様 (CUPA 総合アドバイザー)

イベント・カレンダー NO-2 (2012年7月~9月)

イベント名: CloudStack Ecosystem Day

URL: http://www.citrix.co.jp/event/2012/citrix_0720.html

開催日: 2012年7月20日(金) 10:00-19:00

開催場所: East Gallery(恵比寿)3F(東京都渋谷区東 3-24-7)

講演: 「OPENSTACK/SWIFT」で学ぶ分散オブジェクトストレージ

日本 OpenStack ユーザ会 (伊藤忠テクノソリューションズ株式会社) 中島 倫明 様

講演: サーバー構成管理ツール「Chef」と

クラウドセキュリティプラットフォーム「enStratus」の紹介

クリエイションライン株式会社 李 昌桓 様 (CUPA 技術アドバイザー)

イベント名: クラウド実践講座 「Google Apps を使用した社内情報管理システム構築」

URL: https://www.itc.or.jp/fmi/xsl/seminar_guide_n/seminar_p03.xsl?ID=149

開催日: 2012年7月21日(土) 10:00-17:00

開催場所: IT コーディネータ協会 7F 研修センター(東京都港区芝公園 1-8-21 芝公園リッジビル)

講師: 株式会社ディアイティ 河野 省二 様 (CUPA セキュリティアドバイザー)

イベント名: 次世代サービス共創フォーラム「クラウドビジネスのエコシステムとクラウドサービスの最新動向」

URL: http://www.ngs-forum.jp/event/seminar/detail.php?cno=3&sub_cno=116

開催日: 2012年7月25日(水) 15:00-17:40

開催場所: 情報通信総合研究所

講演 1: クラウドビジネスエコシステムの最新動向と「Biz ホスティング Cloudn」の全貌
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 林 雅之 様 (CUPA 総合アドバイザー)

イベント名: SPES2012 - サービス化により変わるシステム開発 -

URL: <http://www.jisa.or.jp/seminar/spes2012/index.html>

開催日: 2012年7月25日(水)・26日(木)

開催場所: 秋葉原 UDX カンファレンス 6 階

<http://www.udx.jp/access.html>

コーディネータ: パネルディスカッション サービス化により変わるシステム開発
(7月26日(木))

デロイト トーマツ コンサルティング株式会社 パートナー 八子 知礼 様

(CUPA 運営委員)

<http://www.jisa.or.jp/seminar/spes2012/discussion.html>

イベント名: Developers [Social Enterprise] Summit 2012

URL: <http://codezine.jp/devsumi/2012/social>

開催日: 2012年7月27日(金) 10:00-17:00

開催場所: 東京カンファレンスセンター品川(東京都港区港南 1-9-36 アリア品川 3F-5F)

基調講演: 【S-1】What is Social Enterprise? 企業システムの近未来を夢想する(仮)

Part1: OverView クラウドが破壊するもの、創造するもの(仮)

Publickey 新野 淳一 様 (CUPA 総合アドバイザー)

イベント・カレンダー NO-3 (2012年7月~9月)

イベント名: オープンソースカンファレンス 2012 Kansai@Kyoto

URL: <http://www.ospn.jp/osc2012-kyoto/>

開催日: 2012年8月3日(金)・4日(土) 10:00-17:00

開催場所: 京都リサーチパーク(KRP) 1号館・アトリウム・他

<http://www.krp.co.jp/access/index.html>

講演: OSS IAAS 基盤 OPENSTACK の紹介と、クラウドを支える技術解説 (8月4日(土))

日本 OpenStack ユーザ会 (伊藤忠テクノソリューションズ株式会社) 中島 倫明様

日本 OpenStack ユーザ会 (エヌ・ティ・ティ・ソフトウェア株式会社) 岡 あゆみ様

イベント名: クラウド実践講座「クラウドサービスを活用した集客からオンラインセミナー実践講座」

URL: https://www.itc.or.jp/fmi/xsl/seminar_guide_n/seminar_p03.xml?ID=150

開催日: 2012年8月4日(土) 10:00-17:00

開催場所: IT コーディネータ協会 7F 研修センター

(東京都港区芝公園 1-8-21 芝公園リッジビル)

講師: 株式会社ディアイティ 河野 省二 様 (CUPA セキュリティアドバイザー)

イベント名: アカデミッククラウドシンポジウム2012@北海道大学

URL: 未

開催日: 2012年8月28日(火)

開催場所: 北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

共催: 一般社団法人クラウド利用促進機構

イベント名: オープンクラウドカンファレンス 2012

URL: http://www.iic.hokudai.ac.jp/kyodo_kenkyu/cloud-week-2012/

開催日: 2012年8月29日(水)

開催場所: 北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

講演: 「オープンクラウドの動向と Cloudn の全貌」

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 林 雅之 様

(CUPA 総合アドバイザー)

講演: 「オープンクラウド実証実験タスクフォースについて」

一般社団法人クラウド利用促進機構 荒井 康宏 (CUPA 代表理事)

共催: 一般社団法人クラウド利用促進機構

イベント名: 2012年度「統計関連学会連合大会」

URL: <http://jfssa.jp/taikai/2012/info.html>

開催日: 2012年9月9日(日)-12日(水)

開催場所: 北海道大学高等教育推進機構(札幌キャンパス)

<http://jfssa.jp/taikai/2012/docs/campus-map.pdf>

講演: 文部科学省 数学・数理学と諸科学・産業との連携研究ワークショップ

統計科学の産業界への応用

「クラウドコンピューティングと大規模データ処理」(9月10日(月))

株式会社あくしゅ 山崎 泰宏 様 (CUPA 運営委員)

<http://jfssa.jp/taikai/2012/workshop.html>

編集後記

今月より毎月 10 日創刊の CUPA レポート。事務局の編集後記としてよしなし事を綴っていきます。だいぶ夏らしい陽気になってきて、お忙しいクラウド業界の皆様も、アフター5…には帰れないでしょうけれど、とにかく仕事後のビールが美味しい時期になってきました。

さて皆様『ホッピー』はご存知でしょうか？最近のレトロや健康ブームで、だいぶ認知されてきていますね。

戦後はビールの代用酒として、また最近では大衆酒場でオジサンが焼酎のみ(通称:ナカ)を何杯もお代わりして安く酔える酒、なんてイメージが多いかもかもしれません。

そんなホッピーで、ビール派の人にも是非試していただきたいのが、『三冷』。ホッピー社も公式に**推奨している**この飲み方は、ジョッキ・焼酎・ホッピーの全てをしっかりと冷やし、“氷を入れず”に飲むのです。

ビールに氷を入れないのと同様、この飲み方は本当にウマイ。普段氷入りのホッピーを飲んでいる人にも、是非試してほしいです。特にホルモンなど、脂っこいつまみと合わせて口の中を洗い流すには最高。低カロリー・プリン体ゼロという免罪符もあって、つつい飲み過ぎてしまったり。ただ、巷の居酒屋だと、この三冷で提供している店はまだまだ少ないのが現状。

また更にレアなのは、通称『生ホッピー』。生ビールのように専用サーバ形式で提供され、きめ細かい泡が立つのです(製法自体に差異がある訳では無い模様)。この生ホッピーを三冷で提供している店は、たぶん東京圏で数十件程度のはず。是非、探してみてください。え？せっかくだから教えろって？

では、この三冷生ホッピー提供という観点に特化して、事務局的高評価の店をいくつかお教えします。近くに行ったら是非寄ってみてください。

丸重@西新井(<http://r.tabelog.com/tokyo/A1324/A132404/13077000/>)

秀@京成立石(<http://r.tabelog.com/tokyo/A1324/A132403/13075153/>)

まるかや@北千住(<http://r.tabelog.com/tokyo/A1324/A132402/13049428/>)

大黒屋@押上(<http://r.tabelog.com/tokyo/A1312/A131203/13083688/>)



乾杯！

